
――ある日
届いた
一通の手紙。
この手紙は
今でも、
私にとって
特別なものです。
健康福祉部 高齢介護課
事務職員<社会福祉士>
入庁12年目
私は今、
健康福祉部
高齢介護課で
社会福祉士として
働いています。
その前は、
生活福祉課で
生活保護の
ケースワーカーを
していました。
あの方から
いただいた手紙が、
今の私につながる
大切な原点です――。


福祉職は
困難なケースに
対応することも
多いですが、
一人で
抱え込まないように
チームで対応策を
考えています。
最近は福祉職の
横の繋がりも増え、
こういう
視点もありますね。
他課とも連携して、
全庁的に市の課題に
取り組もうとする機運が
高まっています。
他課の職員
一緒に
進めていきましょう。
こうして、
いろいろな職員と
相談しながら、
対応策を考えていく中で——
担当していた方の
生活は、少しずつ
変わっていきました。
その人の
収入も、
少しずつ
増えて——


気持ちも
上向きになり、
生活が安定することで
生活保護が
不要になりました。
その後、
担当していた方から
喜びの手紙を
いただきました。
自分も
頑張らなければ！
あの時の経験は、
私にとって
嬉しさだけでなく、
自分自身の
励みにもなりました。
そして今——


現在、私は
健康福祉部
高齢介護課で
働いています。
高齢者の
健康づくりや
介護予防、
地域で高齢者を
支える仕組みづくり
にも携わっています。
地域で支える
まちづくり
虐待対応や、
成年後見制度の
市長申立てなど、
支援が必要な方への
対応も行っています。
福祉職同士の横のつながりも増え、
他課とも連携しながら、
全庁的に市の課題に取り組む
機運が高まっています。
若手職員でも、
市の事業や
業務の運用について
提案し、形にすることが
できます。
ぜひ一緒に
働けるのを
楽しみに
しています。